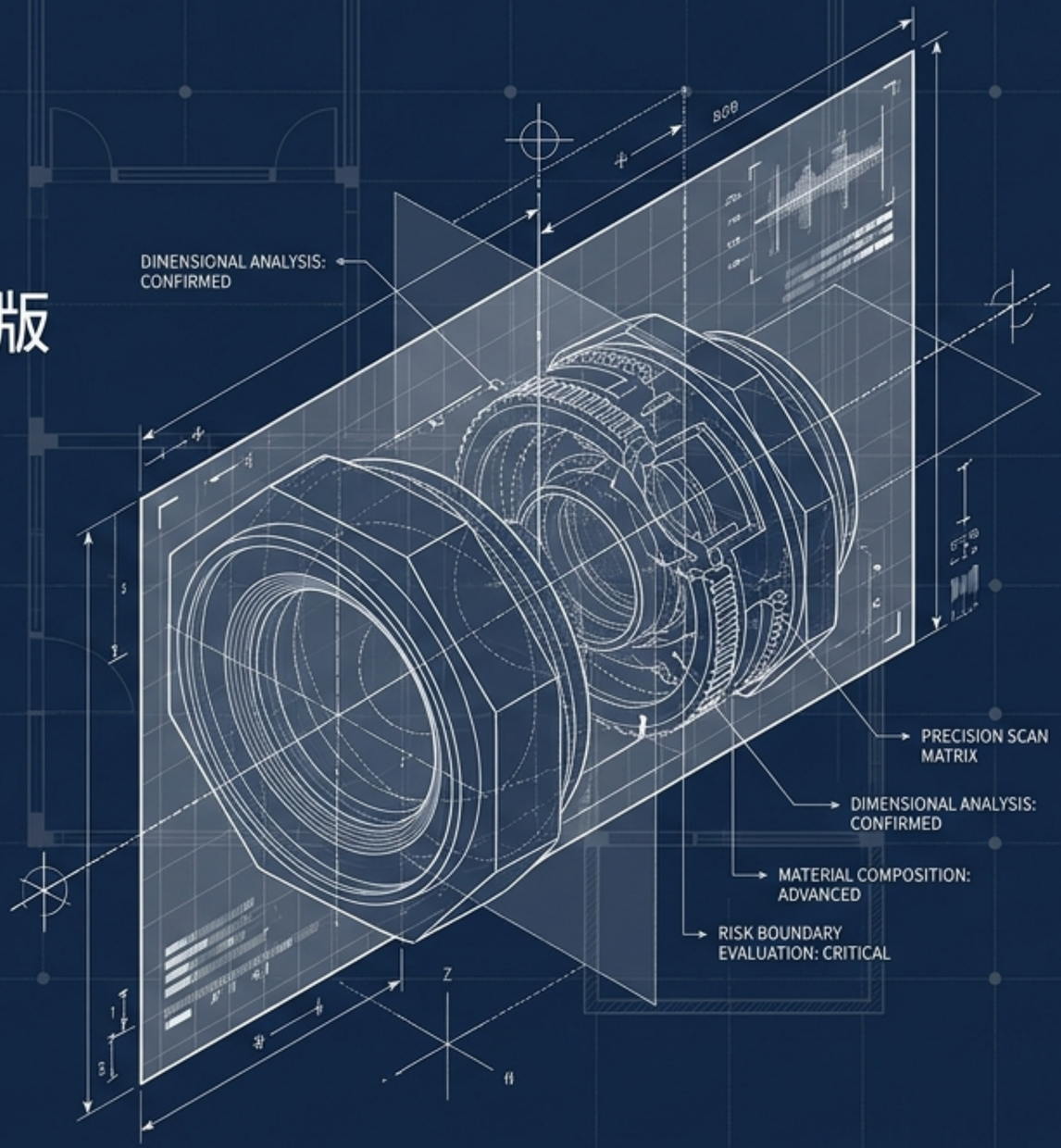
国産生成AI「Sarashina」無償ベータ版
知財業務・導入評価レポート

高度な機密性と専門性が求められる領域における、
実務適性とリスク境界線の再定義



2026年10月14日

SB Intuitions プレスリリース（2026年10月13日）に基づく調査と業務別評価

Gemini Notebook

Executive Summary: 全体要旨



【厳禁】未公開情報・営業秘密の入力

無償ベータ版は品質向上のためのデータ利用の可能性があり、学習利用のオプトアウトは有償プランのみ。日本弁理士会ガイドラインの観点からも入力アウト。



【推奨】「公開情報の大量処理・検索」が最適解

公開特許の日本語セマンティック検索（embedding/rerank）、および軽量モデル（nano）による公開公報の大量分類・要約に極めて有望。



【限界】法的判断（推論）の完全委譲は非推奨

推論（Reasoning）モデルではないため、クレーム解釈、FTO、中間応答の論理構成には不適。架空文献生成（ハルシネーション）のリスクあり。

Gemini Notebook

Sarashina APIの全容（6つの武器）

生成系 (Generation)



Sarashina3 mini

標準の対話・文章生成。
ツール呼び出し対応

128k トークン

6 RPM



Sarashina3 nano

軽量・高速。
抽出・要約・分類の大量処理

128k トークン

60 RPM

検索系 (Retrieval & Ranking)



Sarashina3 embedding

テキストのベクトル化 (1536次元)。
JMTEB v1.4.0で高評価

8,000 トークン

60 RPM



Sarashina3 rerank

検索候補の並べ替え
（1回20件まで）

8,000 トークン

60 RPM

補助系 (Support)



Sarashina3 guard

入力テキストの安全性判定
（T1〜T12）

64k トークン

6 RPM



Sarashina3 translate

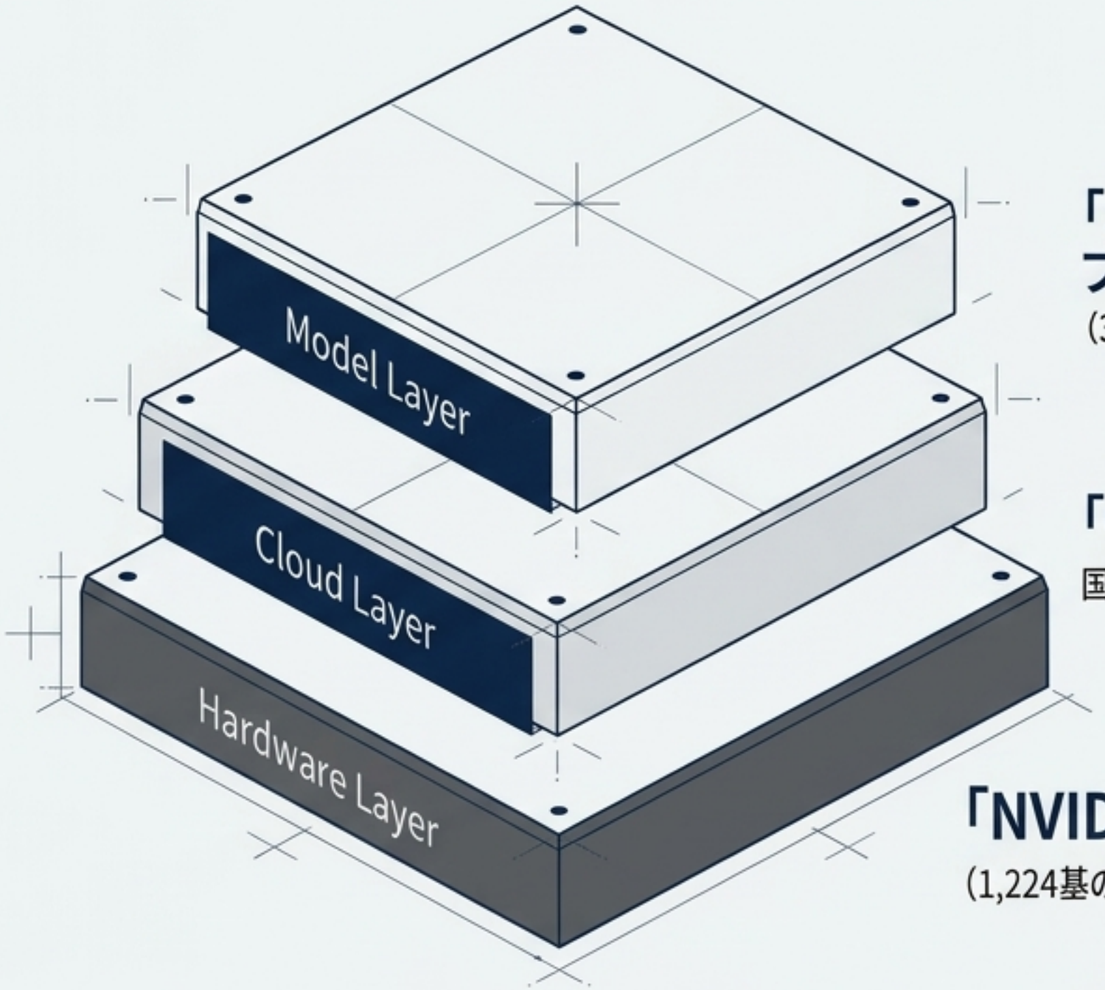
日英・英日翻訳

5,000 文字

6 RPM

Gemini Notebook

技術スタックにおける「国産」の真意



ガバメントAI「源内」試用モデル認定

経済安全保障上センシティブな 技術 分野において、デジタル庁の行政実務適合性評価対象に選定されている事実が、社内承認の強力な説明材料となる。

「Sarashina3」フルスクラッチ開発モデル

（30兆トークンで事前学習）。

「Oracle Alloy」を用いたクラウド基盤

国内データセンターでの管理・運用によるデータ主権の確保。

「NVIDIA GB200 NVL72」AI計算基盤

（1,224基のBlackwell GPU構成、将来は10.6EFLOPSへ拡張予定）※純国産ではない

Gemini Notebook

性能評価の光と影（Speed vs. Hallucination）

光 (SPEED & EFFICIENCY)



- **圧倒的な初速:** 最初の1文字が出るまで **mini:** 0.11秒 / **nano:** 0.10秒（他社フロンティアモデルの約1/7の初速）。
- **驚異の出力速度:** nanoは毎秒585〜680字を突出して書き出す。
- **トークン効率:** 日本語文章を約2.1字/トークンで表現（他社の約半分の消費量）。

影 (HALLUCINATION RISK)



- **非推論モデルの限界:** 長い思考（Reasoning）を行わないInstructモデルであるため、複雑な論理展開に脆弱。
- **検証事例:** 実在の研究者名と無関係な実在arXiv番号を組み合わせた「架空文献の生成」。
- **ルール適用エラー:** 祝日法や改元日などの規則適用で誤り、本題が正しくても補足で作り話をする傾向。

Gemini Notebook

知財データ・セキュリティの「レッドライン」

日本弁理士会ガイドライン（令和7年4月）× 無償ベータ版規約（学習利用のオプトアウト不可）に基づく判断。

セーフゾーン（入力許可）



- **対象データ:** 公開公報（特許、実用新案など）、公開済みの学術論文・文献、架空のダミーデータ。
- **基準:** 外部に公開されても新規性を喪失せず、営業秘密に該当しない情報のみ。

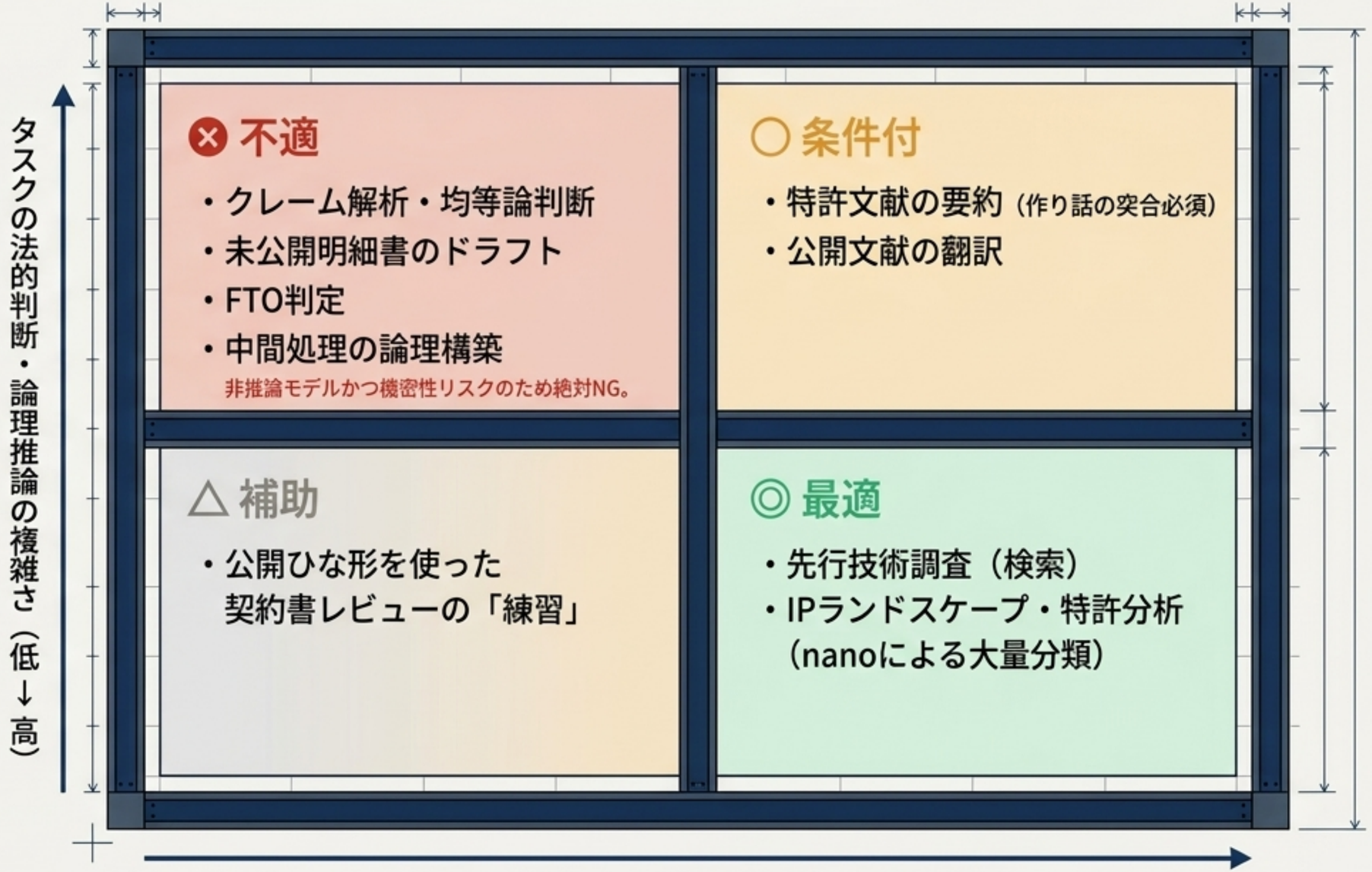
アウトゾーン（入力厳禁）



- **対象データ:** 未公開の発明情報（明細書ドラフトなど）、自社の営業秘密・社内規程、機密保持契約下にある第三者の情報。
- **基準:** 秘密保持規約のないプラットフォームへの入力は新規性喪失のリスクあり。

Gemini Notebook

知財業務 適性ヒートマップ（The Synthesis Matrix）



Gemini Notebook

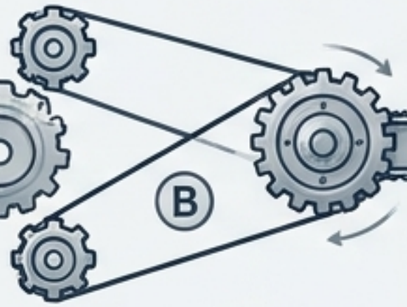
ディープダイブ1：勝機は「検索部品」と「大量処理」の連結にあり

Step 1: 検索と抽出 (Retrieval)





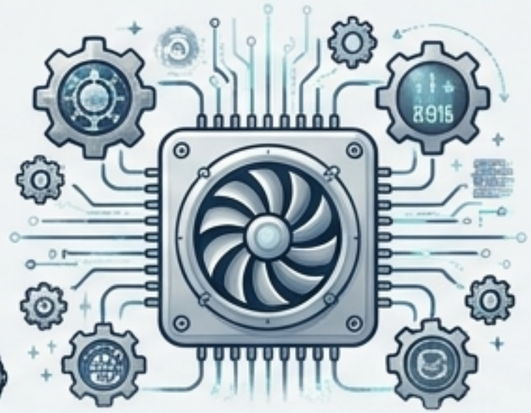
`embedding`（60 RPM）で公開公報のベクトル化。1時間に約3,600件の処理能力。





`rerank`（1回20件）で類似度スコアリングによる並べ替え（※確率校正なしのため順位のみ活用）。

Step 2: 大量分類と要約 (Processing)



128kトークン（日本語20万字超相当）の広大なコンテキストウィンドウ

`nano`（60 RPM）を活用。128kトークン（日本語20万字超相当）の広大なコンテキストウィンドウで、長文の明細書も一括投入。

圧倒的な出力速度（585〜680字/秒）で、課題・解決手段・効果を瞬時に抽出・タグ付け。

Outcome

IPランドスケープ構築や母集団スクリーニングにおける、人間には不可能な圧倒的タイムパフォーマスの実現。



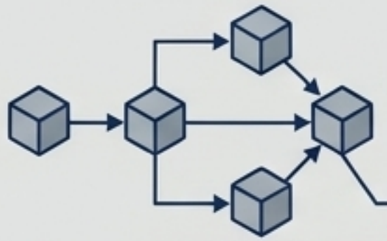
IPランドスケープ構築や母集団スクリーニングにおける、人間には不可能な圧倒的タイムパフォーマスの実現。



Gemini Notebook

ディープダイブ2：「法的判断」への依存が破綻するメカニズム

Error Path 1: クレーム解釈と均等論

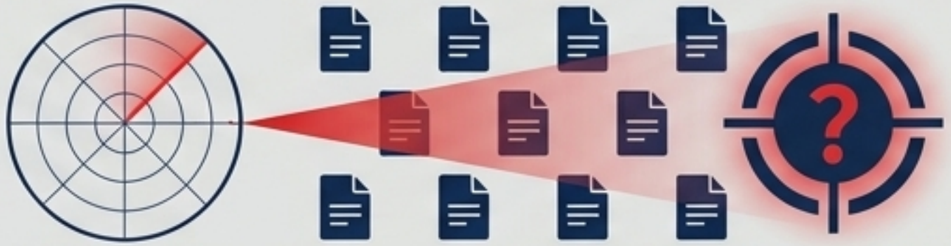


非推論モデルは「文言の射程」や「均等の5要件」のような段階的で深い論理推論（Chain of Thought）を持たない。



表面的なキーワードマッチングに終始し、法的解釈を誤る。
また構造化出力の形式も厳密には保証されない。

Error Path 2: 侵害予防調査（FTO）



見落としリスクが極めて高い業務。AIによる一次スクリーニングの除外判定を鵜呑みにすることは致命的。

自社製品仕様（機密）の入力不可＋判断精度の限界により、AI単独での判定は非現実的。

Error Path 3: 無効資料調査の書誌生成



存在しないarXiv番号を捏造するハルシネーション特性。

論文や公報の書誌情報を生成させると「存在しない無効資料」を作り出す危険。
必ず外部DBでの照合が必須。

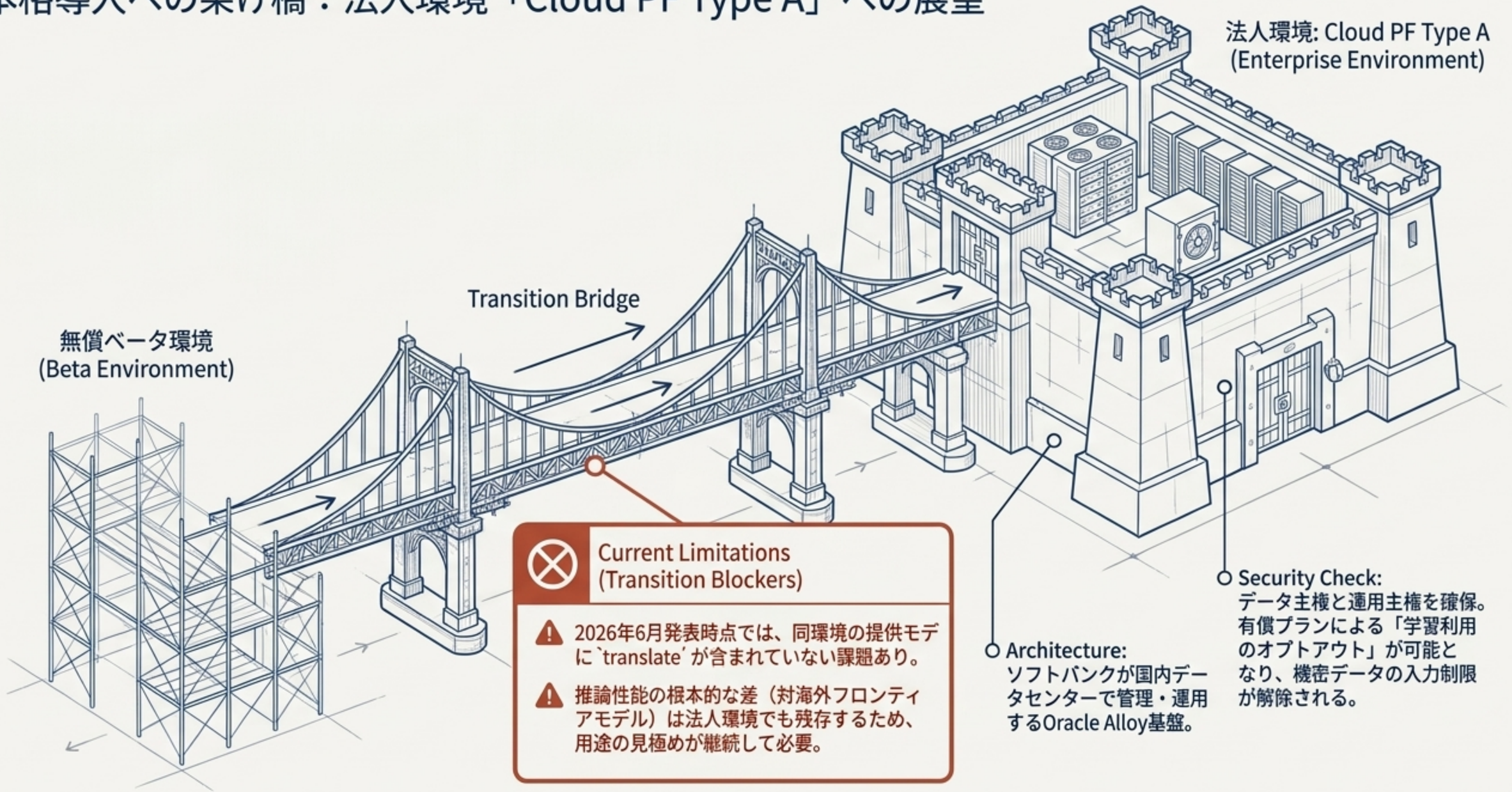
Gemini Notebook

他社LLM・特化サービスとの比較マトリックス

選択肢	強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)	推奨用途 (Recommended Use)
Sarashina 無償ベータ	無料・高初速・日本語検索部品	推論力弱・学習利用リスク	公開情報の大量処理 (IPランドスケープ等)
海外フロンティアLLM（法人）	高推論力・論理構築・低ハルシネーション	データ越境リスク・経済安保上の説明負担	クレーム解釈補助・論点整理
国内の特許特化AI SaaS	業務DB統合済・セキュア	内部モデルのブラックボックス化（要確認）	日常の調査・読解ワークフロー
ローカルモデル（Sarashina2.2等）	機密性完璧（完全オフライン）	3Bクラスで能力限定的	未公開資料の社内OCR・前処理

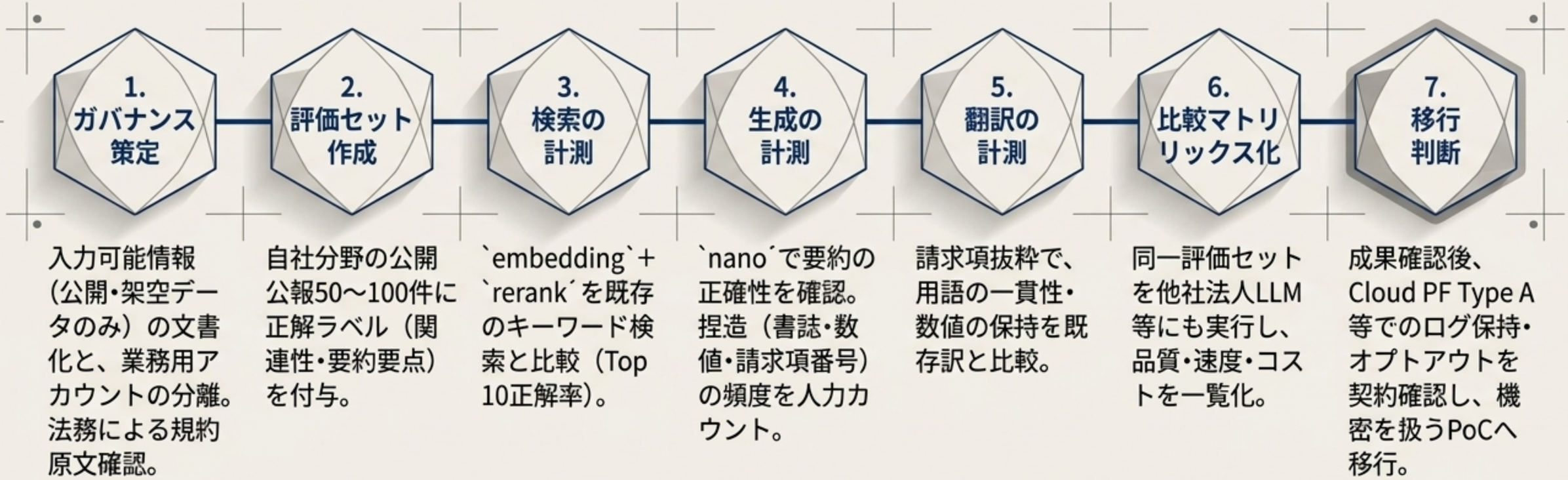
Gemini Notebook

本格導入への架け橋：法人環境「Cloud PF Type A」への展望



Gemini Notebook

7-Step PoC ロードマップ（明日からのアクション）



Gemini Notebook

Sarashinaは、万能な法的『頭脳（推論エンジン）』ではない。
それは、データ主権を担保しながら、日本語の知財空間を最速で駆け抜ける
比類なき『検索・処理エンジン』である。
その特性を理解し、ワークフローの適切な歯車として組み込むことこそが、
知財戦略における次世代の競争優位となる。

分析出典：SB Intuitions プレスリリース（2026年10月13日）、Claude Opus 5.5による調査レポート（2026年10月14日）。
日本弁理士会「弁理士業務 AI利活用ガイドライン」（令和7年4月）に基づく法的リスク評価を含む。自社環境での最終検証を推奨。

Gemini Notebook